古文ドリル：「ばや」「なむ」「がな」など願望表現 100 問

対象：高校生・大学受験生 **著作権**：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：願望表現の整理

古文の願望（〜したい／〜してほしい）を表す終助詞・連語：

形	接続	訳	主体
ばや	未然形	〜したい	自分（1人称）
なむ（他者願望）	未然形	〜してほしい	他人（2/3人称）
てしがな／にしがな	連用形	〜したい	自分（強い願望）
もがな／がな	体言・形容詞語幹	〜があればなあ	願望（存在）

識別の鉄則

1. **未然形＋「ばや」** → 自分の願望「〜したい」
2. **未然形＋「なむ」** → 他者への願望「〜してほしい」
3. **連用形＋「てしがな／にしがな」** → 自分の強い願望
4. **体言＋「もがな／がな」** → 物事の存在を願う

注意：「なむ」の混同

「なむ」には複数の用法あり：

用法	接続
願望（他者）「なむ」	未然形
完了「ぬ」未然＋推量「む」	連用形
係助詞「なむ」	強調

→ 直前の活用形で識別。

🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

> 「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。
> こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

コツ① まず「ばや」を見つけたら未然形チェックだけでOK

「ばや」は **ほぼ100%** 自分の願望「〜したい」。複数用法を悩む必要なし。 例：「行かばや」→ 即「行きたい」と訳す。

コツ② 「なむ」は直前の音で即判断

- 直前が **ア音（未然形っぽい音）** →「〜してほしい」（他者願望）
- 直前が **イ・ウ音（連用形っぽい音）** →「〜してしまうだろう」（完了＋推量）
- それ以外（体言・連体形・助詞の後）→ 係助詞（強調・訳さない）

例：「咲かなむ」→ ア音 →「咲いてほしい」／「咲きなむ」→ イ音 →「きっと咲くだろう」

コツ③ 「がな」「もがな」は前を見るだけ

- 前が **体言（名詞）** →「〜があればなあ」
- 前が **連用形** →「〜したい」（てしがな・にしがなの一部）

「てしがな」「にしがな」は丸ごと1セットで「〜したい」と覚える。分解しない。

コツ④ 文末の「ばや」「なむ」「がな」はほぼ願望系

願望の終助詞は **文末**（または句点の直前）に来る。文中にある「なむ」は係助詞の可能性が高い。
例：「世にあらなむ」（文末）→ 願望／「春なむ来たる」（文中）→ 係助詞。

試験本番でのチェック順序

1. 「ばや／なむ／がな／もがな／てしがな／にしがな」のどれかを特定
2. **直前の語**の活用形（未然か連用か体言か）を見る
3. 表に当てはめて訳を決定
4. 文末か文中かで係助詞「なむ」を除外

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

よくある引っかけ

- 「なむ」を見ると全部「〜してほしい」と訳す → 連用形接続は完了＋推量「きっと〜だろう」
- 「がな」を疑問「〜かな」と訳す → 古文の「がな」は願望のみ
- 「ばや」を仮定「〜ならば」と混同 →「ばや」は終助詞、文末に来る

採点表

- 基礎（Q1〜Q20）：　／20
- 標準（Q21〜Q50）：　／30
- 応用（Q51〜Q80）：　／30
- 入試レベル（Q81〜Q100）：　／20
- 合計：　／100

【第1部】基礎編（Q1〜Q20）

Q1. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 古典を学ば**ばや**。

Q2. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 春の野花のいざ咲か**なむ**。

Q3. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 命の長き世**もがな**。

Q4. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 我れも古典を究め**てしがな**。

Q5. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 我れ古典学ば**ばや**。

Q6. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 君も来なむ。

Q7. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 君が代千代もがな。

Q8. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 仏に祈らばや。

Q9. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 心安く生きてしがな。

Q10. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 月見ばや。

Q11. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 月隠れなむ。

Q12. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 心ある友もがな。

Q13. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 古き友、見ばや。

Q14. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 古典を究めてしがな。

Q15. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 我れ静かに眠らばや。

Q16. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 春雨降らなむ。

Q17. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 心ある人もがな。

Q18. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 心通はばや。

Q19. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 古典の道を歩みてしがな。

Q20. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 雪の白さ**もがな**。

基礎編　／20

【第2部】標準編（Q21〜Q50）

Q21. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 都を見**ばや**と思ふ。

Q22. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 雨止ま**なむ**。

Q23. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 花散り**なむ**。

Q24. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 老いせぬ世**もがな**。

Q25. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 帝に仕へ**てしがな**。

Q26. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 経を読まばやと思ひて。

Q27. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 鳥啼かなむ。

Q28. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 古き友がな。

Q29. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 旅に出でばや。

Q30. 次の傍線部「にしがな」を識別せよ。

> 古き世を見にしがな。

Q31. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 風和らがなむ。

Q32. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 心を尽くさばや。

Q33. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> いつしか春**もがな**。

Q34. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 都に住み**てしがな**。

Q35. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 雨降り**なむ**。

Q36. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 人にも告げ**ばや**。

Q37. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 心を慰むるもの**もがな**。

Q38. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 月さやかに照ら**なむ**。

Q39. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 一目見**ばや**。

Q40. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 心ゆくまで遊び**てしがな**。

Q41. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 雨止ま**なむ**。

Q42. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> もう一度会は**ばや**。

Q43. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 三世の願ひ**もがな**。

Q44. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 雪降り**なむ**。

Q45. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 春の野に出で**ばや**。

Q46. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 文を書き**てしがな**。

Q47. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 君が来**なむ**。

Q48. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 心安き世**もがな**。

Q49. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> しばし眠ら**ばや**。

Q50. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 風吹き**なむ**。

標準編　／30

【第3部】応用編（Q51〜Q80）

係り結び・敬語・複雑な文構造を伴う問題。

Q51. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 何事も忘れ**ばや**と思ふ。

Q52. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 桜散ら**なむ**、惜しからむ。

Q53. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 玉の緒よ絶えなば絶えね、ながらへば忍ぶることの弱り**もぞ**する。

Q54. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 春を待た**ばや**。

Q55. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 千年も生き**てしがな**。

Q56. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> いつしか春来**なむ**。

Q57. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 君と同じ志**もがな**。

Q58. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> あの人に伝へ**ばや**。

Q59. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 風吹か**なむ**。

Q60. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 御目にかかり**てしがな**。

Q61. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 京に帰ら**ばや**。

Q62. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> あはれなる人**もがな**。

Q63. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 御身安らかになりたまは**なむ**。

Q64. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 一人にて居ら**ばや**。

Q65. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 都の様を見**てしがな**。

Q66. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 御文届か**なむ**。

Q67. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 風静かなる夜**もがな**。

Q68. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 御覧ぜさせ給は**ばや**。

Q69. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 雲晴れ**なむ**。

Q70. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 此の人と語らひ**てしがな**。

Q71. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 文を書か**ばや**と思へど、暇なし。

Q72. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 御代長く続か**なむ**。

Q73. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 春ごとの花**もがな**。

Q74. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 御供に侍らばや。

Q75. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 御簾の中に入りてしがな。

Q76. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 風止みなむ。

Q77. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 御文奉らばや。

Q78. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> いつまでも変はらぬ友もがな。

Q79. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 桜の盛り過ぎなむ。

Q80. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 古今の歌を学ばばや。

応用編　／30

【第4部】入試レベル（Q81〜Q100）

難関大頻出パターン。複合敬語・係り結び・係り受けの注意問題。

Q81. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 御目にかからばやと申す。

Q82. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 君が御代千代に八千代に栄えなむ。

Q83. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 古典の本意を伝へてしがな。

Q84. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 風雅の心もがな。

Q85. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 帝に奏せばや。

Q86. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 御前にて舞ひなむ。

Q87. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 御簾を上げばや。

Q88. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 御文をかきてしがな。

Q89. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 春は早く来なむ。

Q90. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> 千歳の松もがな。

Q91. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 御身を清めばや。

Q92. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 暮らし果てなむ。

Q93. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 古き世に生まれてしがな。

Q94. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> いとほしと思は**ばや**。

Q95. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 月の出で**なむ**を待つ。

Q96. 次の傍線部「もがな」を識別せよ。

> いみじき才**もがな**。

Q97. 次の傍線部「ばや」を識別せよ。

> 都に上ら**ばや**と思ひ立つ。

Q98. 次の傍線部「てしがな」を識別せよ。

> 御供に従ひ**てしがな**。

Q99. 次の傍線部「なむ」を識別せよ。

> 我が思ふこと叶ひ**なむ**。

採点振り返り

- 基礎（Q1〜Q20）：　／20
- 標準（Q21〜Q50）：　／30
- 応用（Q51〜Q80）：　／30
- 入試レベル（Q81〜Q100）：　／20
- 合計：　／100

あとがき

願望表現の識別の核心： - **未然形＋ばや** → 自己願望「〜したい」 - **未然形＋なむ** → 他者願望「〜してほしい」 - **連用形＋てしがな／にしがな** → 強い自己願望 - **体言＋もがな／がな** → 物事の存在を願う

「なむ」は **連用形＋なむ＝完了「ぬ」未然＋推量「む」** との混同に注意。 「ばや」「なむ」の前の活用形を必ず確認すること。

著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

© 個別指導塾フィット / 中本裕太　https://kotennosennsei.com